

「金山文化信息资源共享网」の過去ページ（現在閉鎖）を翻訳・補完したものです。
日本語文責；コトータケヒコ。

第二章 “金山画派”の隆起

金山農民画がまさに独自の風格を形成し始めたのだが、まだ人々の目には“変てこなもの”と映り、議論を重ねてもこの絵画が何に属すのかも確定できず絵画展では入選できなかった。しかし独自の見識を持つ人も少なからずいた。1977年9月、中国系英国人の女流作家ハンセンは《中国文芸の二回目の春》を書くため上海に来た際、上海美術家協会を通じて金山を考察し、次のように予言した：“金山農民画は江南民間芸術の独特の風格をもっており、原点回帰的な西洋人の審美的情趣に適している。外国での展覧は必ず成功するだろう！”上海市美術家協会副主席の沈柔堅も何度も金山を訪れ、金山農民画の歩んできた道のりと指導方法、芸術レベルに肯定的な見解を与えた。

1980年4月27日、中国美術館と上海市美術家協会の共同開催による《上海金山農民画展》が中国美術館で開幕し、138作品が出展された。国家文化部、中国美術家協会の幹部や専門家、各国領事館の大使などが参観した。北京の大手メディアもにぎやかに情報を伝え、海外メディアにもとりあげられた。上海人民美術出版社は厳選した金山農民画19作品でポストカードセットを発売し、日本の美乃美社はその場で出版契約を結び、ベルギー中国友好協会代表のVan Den Driesscheと米国の史雷达尼克東方芸術公司是、本国での展示のために展示品全てを買い取る契約を結んだ。5月5日、中国美術家協会は座談会を開き、専門家は金山農民画に“新時代を代表する芸術的珍品”として惜しめない賞賛を与えた。

1980年5月29日～6月30日に戸県文化局と陝西省美術協会の招きで戸県と西安市で展示。《陝西日報》は金山農民画を“新しい民間芸術の創造”とする一文を掲載した。その年の7月21日に米国ロサンゼルス芸術学院と史雷达尼克東方芸術会社の共同開催となる《中国金山農民画展》が開催され、ロサンゼルス芸術学院を皮切りにニューヨーク、ワシントン、シカゴで約半年に渡って巡回展示された。その年の9月、ベルギー中国友好協会など主催の《中国金

山農民画展》がベルギーの首都ブリュッセル国際博覧会で開催、“中国の最も優秀な民間芸術”と称えられた。

1981年2月、日本の美乃美社と上海人民美術出版社による共同出版《中国金山農民画》の大型画集が日本で発行。著名美術家の張竹作が序言を、曹秀文、陳木雲、沈小妹、姜国紅、阮章雲などの52作品が収められ、日本で好評を得た。同年8月8日、国連食糧農業機関(FAO)西ドイツ支部代表ディアスマンが金山を訪れ、金山農民画55作品を購入、10月5日デュッセルドルフで、21日にはボンに移って展示された。西ドイツ外相Blücher夫人が開幕式に参加し、衛星テレビで全世界に展示が実況放映された。ボンのある新聞は論説で“中国上海金山県の綿花摘みの農婦女たちが信じがたい美術の新領域を開拓した”と報じた。同年12月、米ニューヨークのフェアリー・バダサ国際画廊主催の《中華人民共和国現代画展》では金山農民画100作品が展示され、3日で約半数の作品が売れ“ボイス・オブ・アメリカ”を通して全世界にその盛況ぶりが伝えられた。1982年、米國務大臣キッシンジャー夫人が上海錦江飯店で金山農民画指導員の吳彤章及び一部画家と会見、金山農民画を“現代中国における優秀な民間絵画”と称え、その場で5作品を購入し米国に持ち帰った。同年8月14日オランダ中国友好協会ロッテルダム支部の代表黃敦品が金山を訪問、翌年金山農民画64作品をロッテルダムとオランダその他都市で巡回展示した。1985年、中国對外展覽公司是金山農民画14作品を収蔵し、ノルウェー、スイスなどで展示；中国美術館画廊は200余りの金山農民画を米国シアトル、ポートランド、ニューオリンズなどで展示した。翌年の春節には再び米国中華文化基金會在サンフランシスコで展示を行い、好評を得た。

1981年以来、海外向けに発行された《人民画報》、《人民中国》、《中国建設》、《北京周報》、《上海画報》、《中国文学》、《中国婦女》などの出版物や、香港《美術家》誌、国内各省市の美術刊行物と各大手新聞社は続々と金山農民画と吳彤章による《金山農民画の芸術の路》の一文及びその他評論などを掲載。その中で1982年第8期の月刊《美術》誌の特集“上海金山農民画新作選”では張新英の作品をカバー、陳德華の作品を裏面に、金山農民画26作品を収めたもので、評論もあり、系統的に金山農民画の芸術形成を紹介したものとなった。1983年上海美術電影制片廠は金山農民画の記録映画《画

的歌》を撮影，在中国各国領事館に配布され、中国民俗文化の紹介材料として国際的にも大きな反響を得た。1984年，西ドイツでは金山農民画6枚がカレンダーに、1985年にはベルギーでポストカードの図案に用いられた。ユーゴスラビア評論社の出版による《World Encyclopedia of NAIVE ART》では金山農民画として曹金英、曹秀文、朱希、沈徳賢ら12名の14作品及び呉彤章の文章が採用され、1985年6月6日同社社長と総編集長のタマタビッチが金山を訪れ贈呈した。この巨著は40以上の国と1000名以上の画家の作品と文章を採用しており、“金山農民画は濃厚で独特なオリエンタリズムがあり、それはこの本でも十分に感じられる”と評された。1987年6月25日国家郵電部は《今日農村》という4種1セットの特殊切手を発行，張新英の2作品，邵其華、陳徳華の各1作品を採用した。中国集郵総公司発行の初日カバー及び初日印デザインも張新英が担当した。1988年7月19日文化部は上海市摄制一部に各界で活躍する新女性たちのニュース映像の制作を命じ，金山農民画家の阮四娣、陳芙蓉、曹金英が選ばれ、彼女たちの作画と生活がスクリーンで放映された。1990年上海電視台国際部は金山農民画の特集映像《厚土》を撮影，国内外で発表した。1998年5月16日，中央電視台《美術星空》番組が金山農民画の3つの発展段階の代表作品を撮影，金山農民画の発展の歴史が全国放送された。同年10月，上海郵電管理局は曹秀文、怀明富、盛璞らの創作した農民画10点をモチーフに中国郵政ポストカード1万セットを発行。1999年にもまた、張新英の農民画《龍》を2000年辰年の年賀状図案に用いた。以上の活動によって，金山農民画の国内外での知名度は高まり，影響も大きくなった。80年代以後，外国領事館員、文化代表団、美術学校、出版社、報道各社、通信社と記者、専門家、教授、学者、画商、旅行者などが金山を訪れるようになり、購入や展覧の問い合わせをすることも多くなった。その中の一人のスーザン・ローレンスという米国女流画家は北京參觀後に金山を訪れて教を請い、農民画創作学習班で学習し、ついには彼女が幼いころの生活情趣を表現した一枚の金山農民画作品《滑雪》を作り出した。彼女は“金山農民画の芸術形式は心の美しい状態を表現するのに最適だと思う”と語った。2000年に至るまでに2000余りの作品が米、英、日、仏、独、加、豪、ベルギー、オランダ、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、スイス、ユーゴスラビア、キューバ、シンガポール、香港、台湾などの国と地域で展示され、3000以上の作品が北京、上海、天津、

広州、杭州、西安、長春、南寧、西寧、成都、桂林、湛江、江陵などの都市で展示された。1982年11月25日から12月15日の広東省博物館での展示では、美術界から“時代のニューフェースとなる民間美術‘金山画派’が立ち上がった！”（《上海美術通讯》1983年第12期）と称された。1983年4月と11月に浙江美術学院と天津美術学院での展示では、美術界から“学院派美術への尋常ならざる一撃！”と称された。

1997年11月6日～17日金山農民画院副院長の朱希は日本総理府と“たんぼぼの家”の招待に応じ、上海代表団に随行して日本へ赴き“アジア・太平洋十年中間年記念芸術節国際大会”に参加、その席上で《金山農民画の芸術特徴と指導方式》というテーマで学術講演を行い、同時に神戸市美術館で金山農民画30作品を展示し、各国専門家の関心を引いた。日本国総理府次長石出宗秀が上海代表団を接見し金山農民画に高い評価を与えた。1998年8月26日～9月4日、オーストラリア・メルボルン市のウエングルー芸術基金会の招待で怀明富、周建青は絵を携えて豪州へ赴き金山農民画展を開催。90年代以後の新作150作品は参観者の好評を得た。1999年10月、文化部は嘉興での中国現代民間絵画作品の招待作品展と検討会に招待され、金山農民画の2作品が受賞、王奇方、怀明富の共著論文《金山農民画の歴史的回顧と更なる発展の一步のための対策》が一等になった。2000年10月15日、文化部主催、金山区文化局後援で中国農民画連合展が楓泾鎮で開幕、金山農民画6作品が受賞。一部作品は金山衛鎮と漕泾鎮でも巡回展示された。展示期間中は全国48の画郷から436作品が出品され、100余りのイベントが開催、《農民画と旅行》検討会を挙行し、金山は《金山農民画の発展の歴史的過程と芸術特色》、《試論；金山農民画のさらなる一步の開拓と発展》、《金山農民画と旅行》等の三つの論文を発表、《論文汇编》を出版、また各画郷代表団を率いて上海を遊覧し、以上の一連の活動で内外の参観者6万人を魅了した。旅客の多さ、作品の多さ、規模の大きさは全国でもトップクラスで、報道はこれらのイベントを“全国農民画初の大検閲！中国農民画が新しい発展段階に達したことが示された”と褒め称えた。

1991年、今日中国出版社が第2冊目となる《金山農民画》大型画集を出版、著名美術家の張仃が題字を書き、曹振峰が序言を与え、張新英、阮四娣、陳德

華など 39 人の農民画家の作品 104 点が収められた。1996 年、中国世界語出版社が《中国農民画優秀作品集》大型画集を出版し、360 作品が収められた。金山農民画では李金華、超美玲、徐小星、宋金其、陸学英、李川英などの 44 作品が収められ、国内外で発行された。1994 年金山農民画院編集の《金山農民画・歌謡集》には李川英、陳芙蓉、張婉英、姚喜平らの 35 作品が、中国作家協会会員の張鉄蘇の詩を沿えて上海画報出版社から出版された。1995 年には《金山農民画・童謡集——阮四娣特集》（少年兒童出版社）が、1996 年には《金山農民画・民謡集——怀明富特集》（上海画報出版社）が、いずれも張鉄蘇の詩を沿えて刊行された。1997 年湖南美術出版社が《中国現代美術全集・農民画》を出版、張婉英、曹秀文ら 10 名の 13 作品が収められた。1998 年 8 月、中国文聯等主催の第四回中国国際民間芸術節では、怀明富、張新英、陳德華、陸永忠、徐桂宝、徐建中、張婉英、朱永金、趙龍觀、朱景龍、王泉芳などの 12 作品が入選、その全てが《中国現代民間絵画集》画集に収められた。1999 年 11 月、金山農民画院選、上海画報出版社出版の第 3 冊目となる《金山農民画》画集が刊行され、59 人の作者と過去の受賞作品及び近年の優秀な新作など 141 作品が収められた。